

好学尚武

2025年を振り返る

今年もあっという間に1年が終わろうとしています。2025年を簡単に振り返りたいと思います。

◎ 東京大学に現役で2名合格

新年早々ビッグなニュースが・・野球部3年生2名が東京大学に現役合格しました。結局、これが2025年野球部最大の出来事だったと思います（同じ代で複数となると、今後の教員生活で2度とないのではと思っています。現1・2年生、私のそんな思いをぜひ良い意味で裏切って欲しいと思います）。

◎ 新入部員

4月、新入部員が15名（選手12名・マネ3名）加入、大変な入試をよくぞ突破してくれました。

◎ 春大会

前年秋、県大会に出場していた関係で地区シードあり。それを活かして地区を勝ち上がり、県大会でも2勝、夏のシード権（Dシード）を獲得。

◎ 夏大会

初戦（2回戦）川越西高校に勝利、3回戦・春日部高校戦も9回に追いつきタイブレークで勝利、4回戦・山村国際高校戦、0対2で敗退、よく頑張ったが、私立に勝ちたかったという感想も・・

◎ 新チームスタート

北村主将から鈴木蒼大主将にバトンタッチ

右につながります

左側の続きです

◎ 関西遠征

例年通り8月上旬に実施。来年統合される姫路の市立高校3校すべてと練習試合を行うことができました。また、甲子園大会観戦日は2部制の日、試合が終わると強制的に球場を出なければならず・・しかもその試合が、地元・東洋大姫路高校の試合だったため大混雑に・・大変でした（来年も実施予定）。

◎ 新人大会

関西から戻ってきてすぐ新人大会が行われました。2勝し、地区のシード権を獲得しました。私立と同じブロックにならなかつたことが大きかったと思いますが、よく頑張ったと思います。

◎ 秋大会

地区シードを獲得できていたこともあり県大会へ。ただ、地区から県までの期間で怪我人続出、良い所なく県大会を終える。

◎ 市民大会

予選リーグ、浦学と同ブロック、真っ向勝負でぶつかり序盤接戦・・も中盤以降力負け。2位代表として決勝トーナメントに進出するも市内の私立、浦実と麗明に敗退。4位という形で終える。

来年に向けてという形でまとめなければなりませんが、（埼玉県の）高校入試のルールが変わることをご存知でしょうか？これは市高のような共学進学校にとって明らかな逆風です。市高で野球をしたい！小中学生にそう思っていただくような活動をしていかなければ、部の存続危機につながっていく（埼玉県の公立高校野球部皆同じ状況）と思っています（大袈裟な表現ではありません）。

2025年、ありがとうございました。

2026年もよろしくお願い致します。